

平成30年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会



あすか製薬株式会社 川崎研究所
平成30年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

市民100万本植樹運動

殿町第2公園植樹祭 平成30年10月27日(土)開催

川崎市は、平成22(2010)年度から、平成36(2024)年の市制100周年に向けて、市民・事業者と協働して市内に100万本の植樹を進める「市民100万本植樹運動」を推進しています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」では、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

平成30年度は、川崎区の殿町第2公園で植樹祭を開催いたしました。当日は、約200名の市民・関係者が参加し、マルバシャリンバイ、ヤマアジサイ、ヒュウガミズキ、サツキツツジの苗木を505本植樹しました。



目 次

会長あいさつ	日本電気株式会社 玉川事業場地区責任者	野田 謙一	1
市長あいさつ	川崎市長	福田 紀彦	2
事業所の取組			
	J F E スチール株式会社 東日本製鉄所		3
	味の素株式会社 川崎事業所		4
川崎市みどりの事業所推進協議会の活動（平成30年度）			5
幹事会の記録（平成30年度）			9
川崎市からのお知らせ			10





持続可能な社会をめざして

川崎市みどりの事業所推進協議会

会 長 野 田 謙 一

(日本電気株式会社玉川事業場地区責任者)

平素より、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

最近、SDGs (Sustainable Development Goals) という言葉をよく耳にしたいと思います。これは、国連が2030年に向けた世界的な優先課題および世界のあるべき姿を明らかにした17のゴール・169のターゲットになります。2015年9月の国連サミットにおいて、「持続可能な開発目標 (SDGs)」が193参加国の全会一致で採択され、日本政府も2016年5月に「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置しました。国内において、地球環境、人間社会が継続維持される基本目標の達成に向けて、関心の高まりを見せています。

地球環境は、企業が事業を継続していく上で不可欠な基盤であり、環境持続のためには企業も積極的に関わっていく責任があります。この「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動も、持続可能な社会を構築していく一端を担うものと考えています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、1972年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置され、2005年には、より広範囲の事業所への協働参加を目指し「川崎市みどりの事業所推進協議会」と改めて現在に至っています。川崎市と事業所の官民が一体になり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組んでいます。緑化協定締結事業所の緑化率は、発足当時3.6パーセントでしたが、現在では10パーセントを超え、緑化地の面積は153ヘクタールを確保しています。

また、川崎市で進められている活動のひとつに「市民100万本植樹運動」があります。これは市制100周年を迎える2024年度までに、市民、事業者、行政の協働により、市域に100万本の植樹を目指すものです。2018年9月30日時点では、約89万8千本まで植樹が進められています。当協議会としましても、引き続き市と連携して「市民100万本植樹運動」を始めとした様々な活動への参加、緑地の増加と保全を通して、より良いまちづくりに協力してまいります。

今後も、「最幸のまち かわさき」を目指し、緑豊かな地域づくりの推進に皆様とともに取り組んでまいりたいと考えており、講演会、講習会、施設見学会等の会員相互の連携・親睦を深める活動も引き続き進めてまいりますので、皆様の積極的なご参加をよろしくお願い致します。今年度も関係各位のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



「最幸のまち かわさき」をめざして

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、日本の総人口が減少局面にあるなかで、「川崎市みどりの事業所推進協議会」が発足した昭和47年当時約98万人だった本市の人口も、平成29年4月に150万人を突破し、現在においても増加が続いており、特に若い世代に選ばれる都市として成長を続けています。

一方で、本市を取り巻く社会経済環境は日々変化しており、その変化にしっかりと対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、私たちのまちが持つ、多くの優れたポテンシャルを最大限に活用しながら、中長期的な視点を持って、課題に取り組んでまいります。

川崎市では、地球規模の環境変化に柔軟に適応しつつ、地域環境や緑の保全に取り組むことで、自然の恵みを感じ、快適でうるおいのあるまちづくりを進めております。

例えば、緑と水の豊かな環境をつくる取組として、多様な主体の参画による持続可能な仕組みづくりや、暮らしを支え、まちの価値を高める緑の効用の発揮を目指した取組などを進めております。今後も、環境変化への適切な対応と、人と自然が共生する持続可能なまちづくりを重点的に進めてまいります。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」皆様の事業所の緑は、地域に潤いを与えるなど地域緑化に大きな役割を果たすだけでなく、野鳥や昆虫などの生息空間の一部ともなり、生物多様性にも大いに貢献されているところでございます。

今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

JFEスチール(株)東日本製鉄所(京浜地区)

海に浮かぶ緑の製鉄所

緑地メンテナンス

1912年(明治45年)の創業から100年以上の歴史を誇るJFEスチール(株)東日本製鉄所の京浜地区。その主要生産拠点として1976年に稼働した扇島地区を中心に、最新鋭の設備と最先端のテクノロジー、そして、緑あふれる製鉄所です。

約800万㎡の巨大な敷地には、クスノキ、サザンカなどの常緑樹や、川崎市の花「大紫ツツジ」、さらには、桜の木など約40種・80万本の樹木が植えられており、工場見学会では、それらの緑地を十分にご覧いただけます。



敷地境界の緑地メンテ



会社敷地に隣接する境界緑地の樹木は、定期的に剪定して管理しています。

構内の緑地メンテ



扇島を縦断する幹線道路・東西1号線沿いの樹木は、36余年を経て大きく成長。前方には、雄大な“鶴見つばさ橋”がそびえ立っています。



毎年32,000人前後のお客様が訪れる『扇島アメニティホール』の緑地。春になると、ツツジやサツキの花が咲きほこり、訪れる人たちの心を和ませています。

続けています！ 公道グリーン作戦

JFEスチール(株)東日本製鉄所・京浜地区の公道グリーン作戦を始めて29年目を迎えました。スタート当時は、渡田地区を起点に、産業道路沿線や川崎駅方面が主要な清掃エリアでしたが、生産拠点の移転とともに、近年は、水江町沿線へとシフトしています。

参加対象： 京浜地区構内に所在のJFEグループ・協力会社の社員
参加人数： スチールの各部署、傘下各社より総勢30～40名
実施日： 毎月第3木曜日13時～15時

地域のみなさんと共に！

JFEスチールは、地域社会の一員として地域とのふれあいを大切にしています。

今年は、5月26日(日)に開催予定です！

ビフォー & アフター



水江町線の沿道に雑草が生い茂り、狭かった歩道も広々と快適に！



ふれあい祭り

みんなの輪
大運動会

JFEカップ・ママさん
バレーボール大会

◎事業所紹介

- ①操業開始時期：川崎工場として1914年（大正3年）うまみ調味料「味の素」の生産を開始。
- ②敷地面積：366,675.04 m²
- ③生産品目：「ほんだし®」、「Cook Do®」、「味液®」、「アミノバイタル®」、各種アミノ酸（医薬用、食品用）、香粧品等で、年間約1,700アイテム。
- ④見学来場者数：50,928人／年（2017年度実績）
- ⑤事業所の特徴：
・3,100名が働く味の素グループ大集積拠点
・生産、研究開発、事業部、グループ会社等からなる多岐多様な組織
・住宅地に囲まれた立地環境

◎緑化の取組

味の素（株）川崎事業所は、都市型事業所として、地域貢献、共生を意識して事業活動に取り組んでおります。

特に事業所周圍環境に配慮し、新たに開発、建設された住宅地周辺の景観との調和、地域への生活環境整備が必要であり、また、近隣住民の方々のご意見等も踏まえて、緑化を推進しております。

従来までは事業所内において、新たに施設建設等の開発行為時に、開発エリア内のみでの、緑化に限定されておりましたが、川崎市とも相談、協議を行い、地域環境保全観点で川崎事業所全体のエリア内に拡充、有効な緑化を実施いたしております。

現在、川崎事業所の緑化面積は敷地全体の約11.7%を占めており、マテバシイ、クスノキ、シラカシ、シイノキ等の樹木が約46,000本植えられております。

緑化推進活動とともに、2010年より開始した川崎市と共催による緑のカーテン「ゴーヤー」を植栽し、「夏休み！ゴーヤー親子料理教室」も継続、開催しており、また“多摩川の緑や豊かな自然環境と多様な生命の保全に努める”ことを意識して、多摩川沿いに重点をおき、清掃活動も実施しております。



夏休み！ゴーヤー親子料理教室



従業員による多摩川沿い清掃活動

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(平成30年度)

4月19日(木)

第46回定期総会・講演会

参加者 26事業所35名

場 所 川崎日航ホテル

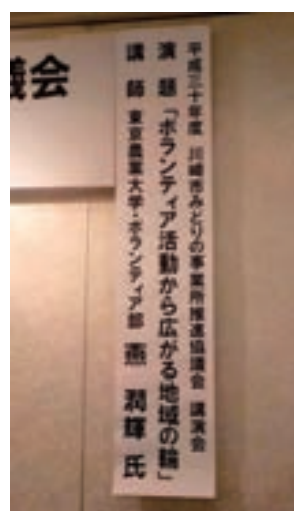
【定期総会】



【講演会】

演題「ボランティア活動から広がる地域の輪」

講師 東京農業大学・ボランティア部



6月6日（水）

川崎市環境功労者表彰式



表彰事業所 あすか製薬株式会社 川崎研究所
部 門 緑の保全及び緑化の推進
場 所 川崎市役所第4庁舎ホール

◎事業所紹介

昭和47年に川崎市と工場緑化協定を締結した当初は、9.74%の緑化面積でしたが、工場機能をいわき工場へ移し、研究施設を充実させてから、緑化整備が進められました。

緑豊かな地域での更なる社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努め、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の工場敷地の緑化努力目標である10%を大きく上回った緑化面積（平成29年度末現在で21.77%〔約9,985㎡〕）を敷地内に確保し、緑地管理に努めています。



10月（都市緑化月間）

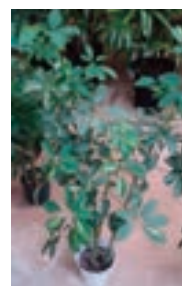
緑化啓発グッズ配付

配付植物 「カポック」又は「サクラ（苗木）」※選択制

【カポック（観葉植物）】

原産地 アメリカ、アフリカ

特 徴 常緑性の低木で一本の茎の先に手のひらを広げたように8～10枚の小葉を付ける。



カポック

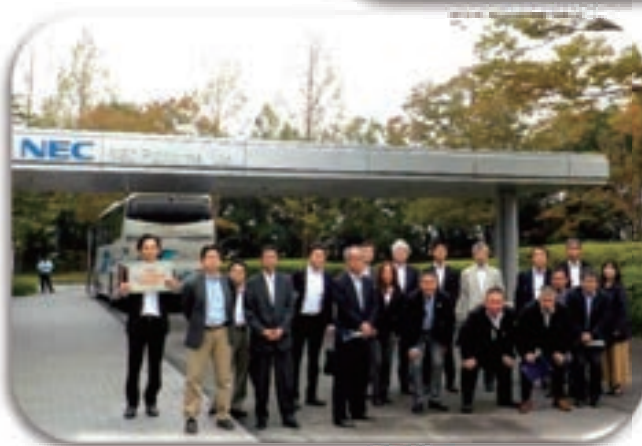
10月4日（木）

施設見学会

事業所緑化の優良施設を見学し、緑化に対する意識の高揚や、緑化推進への動機付けを図ることを目的として、施設見学会を実施しています。

訪問場所 NECプラットフォームズ株式会社甲府事業所
（平成29年度 緑化優良工場等関東経済産業局長表彰受賞）

参加者 14事業所 19名



ドローンによる撮影

◎参加した皆さんの感想

- ・天候もよく、見学場所も良かった。
- ・緑化に関する説明や見学の時間が多くあり、大変参考になった。
- ・場所は例年通りでもいいが、参加しやすくするため、川崎近郊でも良い。
- ・もっとPRして多くの事業所の方に参加してもらいたい。

11月29日（木）

講習会

花や緑に親しむことを目的として、年末年始用の寄せ植えづくりなど講習会を開催しています。

場 所 川崎市総合自治会館

演 題 「コケ玉の寄せ植えづくり」

講 師 株式会社泉樹園 代表取締役 手塚賀久氏

参加人数 14事業所 21名



最優秀作品
昭和電工ガスプロダクツ(株)
山本さん

◎参加した皆さんの感想

- ・デザイン性が問われる講習会であったが、楽しく学ぶことができて良かった。
- ・植物の種類の写真、説明があり良かった。
- ・花物を入れて欲しかった。
- ・来年はもっと多くの方に参加してもらいたい。



優秀作品
あすか製薬(株)遠藤さん



優秀作品
新日本理化(株)樋口さん



3月

広報活動

機 関 紙 「事業所緑化《平成30年度活動記録》」

発行年月 平成30年3月

発行部数 150部

配 布 先 会員事業所ほか



幹事会の記録(平成30年度)

第1回幹事会

平成30年6月13日(水)
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 平成30年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
- 2 平成30年度施設見学会について
- 3 (公財)かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について
- 4 第2回幹事会の日程について
- 5 講習会の日程について

第2回幹事会

平成30年9月21日(金)
富士電機株式会社 川崎工場

- 1 平成30年度施設見学会について
- 2 平成30年度講習会の開催について
- 3 都市緑化月間における普及啓発グッズの配付について
- 4 平成30年度「市民100万本植樹運動」植樹祭への協力について
- 5 第3回幹事会の日程について
- 6 第47回定期総会の日程について

第3回幹事会

平成31年1月25日(金)
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 第47回定期総会について
- 2 平成31年度講演会について
- 3 平成30年度機関紙「事業所緑化」の作成について
- 4 平成30年度施設見学会実施報告について
- 5 平成31年度施設見学会について
- 6 平成30年度講習会実施報告について
- 7 平成30年度予算執行状況報告について
- 8 第4回幹事会の日程について

第4回幹事会

平成31年3月14日(木)
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 第47回定期総会の開催について
- 2 第47回定期総会に付する議案書(案)について
- 3 平成31年度講演会について
- 4 平成30年度機関紙「事業所緑化」の作成について

川崎市からのお知らせ

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されております。

現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

保全管理活動地区	締結先企業等
栗木山王山特別緑地保全地区 (麻生区栗木:2.0ha)	富士通株式会社川崎工場
久末東特別緑地保全地区 (高津区久末:0.7ha)	NECプラットフォームズ株式会社、他
王禅寺東特別緑地保全地区 (麻生区王禅寺東:0.9ha)	川崎信用金庫
岡上丸山特別緑地保全地区 (麻生区岡上:1.3ha)	岡上小学校及び和光大学
久末イノ木特別緑地保全地区 (高津区久末:0.9ha)	日本ロレアル株式会社



屋上緑化・壁面緑化助成事業

屋上緑化

- 1 助成基準 樹木、芝等により、建築物の屋上を3㎡以上緑化するもの
- 2 助成対象経費 植物及び植物基盤材（土壌等）の購入経費、防水、灌水、排水設備の設備費等
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡あたり1万円、1件あたり100万円を限度。

壁面緑化

- 1 助成基準 つる性植物等により、建築物の壁面を幅5m以上、又は面積3㎡以上緑化するもの（ゴーヤなどの一年草は対象外）
- 2 助成対象経費 つる性植物等、支え材等資材の購入経費
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡または1mあたり1万円、1件あたり50万円を限度

※工事開始後の申請は対象外です。詳細は事務局までお問い合わせください。



公共のみどり助成制度

不特定多数の人々の目に触れ、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成する事業です。

助成額は、基本助成額（緑化面積に応じて2万円～5万円）＋30円/㎡です。制度の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。



平成29年度事業所緑化データ

協定締結事業所 67事業所 緑化率 10.9%（昭和47年発足時3.6%）

緑化面積 153.8ha



緑化率10%以上達成事業所

10%台	23事業所
20%台	12事業所
30%台	4事業所

編集後記



平成30年度も「市民100万本植樹運動」植樹祭をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとうございました。

「市民100万本植樹運動」では、毎年みどりの事業所推進協議会からの御寄附により、お土産用の花・苗木等を配布させていただいております。植樹後、お土産をもらって喜んでいる参加者の方が多かった印象を受け、緑の大切さを実感しました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

また、事業所の活動である施設見学会や講習会について、平成31年度は、内容をより充実させ、多くの会員事業所の皆様に御参加いただき、事業所間の連携をこれまで以上に密にでききかけにしていきたいと考えております。次年度は、今まで参加された事のない事業所の方も、是非御参加ください！

発行日 平成31年3月

発行 川崎市みどりの事業所推進協議会
(川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課内)

電話 044-200-2380

川崎市緑化基金

川崎市内の「**緑**」を**守り・育て・増やす**ために
基金への御協力をお願いします！



- 緑地保全の奨励
- 保全緑地の管理計画づくり



- 市民緑化運動の推進
(市民植樹運動や、思い出記念樹配布)

皆様からいただいた寄附金は
基金として活用し、
民有地を含む都市緑化に
役立てられています。

みなさまの御協力
をお願いします。

- 緑の活動団体助成
- 生垣づくり助成
- 駐車場緑化助成



- 屋上・壁面緑化の助成
- 緑のカーテン



基金への寄附と 税の控除について

法人の場合

確定申告によって、寄附された金額を
法人税法(第37条)の規定により、
損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
みどりの協働推進課

電話(044)200-2380 FAX(044)200-7703

(公財)川崎市公園緑地協会
(各種助成などの手続)

電話(044)711-6631 FAX(044)722-3921

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所



味の素株式会社 川崎事業所

